

2021年9月30日

各 位

株式会社 みなと銀行

「兵庫県内中小企業の景況調査(2021年7月～9月期)」の実施結果について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行(社長 武市 寿一)は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査(2021年7月～9月期)を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

■景況調査の概要

実施時期	2021年8月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先:1,910先、うち有効回答:1,453先 (有効回答率 76.1%)
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I 新型コロナウイルスの影響について等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

兵庫県内中小企業の景況調査 (2021年7月～9月期)

- 調査方法等 2021年8月
- 調査時点 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- 調査対象 聞き取りによるアンケート調査
- 調査方法 1910社
- 依頼先数 1453社 (有効回答率76・1%)
- 有効回答数

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	379	26.1
建設業	242	16.7
卸売業	218	15.0
小売業	85	5.8
不動産業	199	13.7
運輸業	72	5.0
宿泊・飲食業	21	1.4
医療・福祉	71	4.9
サービス業	112	7.7
その他	54	3.7
非製造業	1,074	73.9
無回答	0	0.0
合計	1,453	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
5名以下	181	12.5
6～10名	172	11.8
小計	353	24.3
11～20名	262	18.0
21～50名	408	28.1
51～100名	199	13.7
小計	869	59.8
101～200名	126	8.7
201名以上	104	7.2
小計	230	15.8
無回答	1	0.1
合計	1,453	100.0

※ DI (Diffusion Index)
景況判断 DI = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

調査 みなと銀行 集計・分析 ひょうご経済研究所

【調査結果】

- 景況判断は、5・3ポイント改善の▲21・8と5四半期連続の改善だが、マイナス判断が続いている。新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、29・0%の企業が「悪い」と回答している。
- 新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ている企業は、61・6%であり、去年5月以降、過去5回の調査と同様に6割を超える。
- 今年6月の売上水準(対前年同月比)は、「横ばい」を含めて「増加」が79・7%となり、3月比7・7ポイント増え、改善のきざしが見える。
- 脱炭素への取り組みについて前向きな企業は49・6%(始めている3・5%、検討を進めている7・1%、検討する39・0%)と半数を下回った。
- 景況判断の今後の見通しは、2・4ポイント改善の▲19・4とみている。

1 景況判断

改善したが、「悪い」と判断する企業が多い
『全産業』は5・3ポイント改善の▲21・8と5四半期連続で改善したが、マイナス判断が9四半期続いている。3割弱が悪いと判断している。

『製造業』は全体で5・6ポイント改善の▲24・3だった。
『非製造業』は全体で5・1ポイント改善の▲20・9で、『製造業』『非製造業』とも9四半期連続のマイナス判断となっている。
地域別は、但馬・丹波地域が悪化した。他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。
先行きは『製造業』で1・3ポイント、『非製造業』で2・8ポイントの改善を予想。全産業では2・4ポイントの改善を見込む。

2 売上高判断

製造業、非製造業ともに改善
『全産業』は8・2ポイント改善の▲9・5となった。
『製造業』は10・2ポイント改善の▲6・6。『非製造業』は7・5ポイント改善の▲10・5となった。
業種別は建設業、宿泊・飲食業が悪化し、他の業種は改善した。医療・福祉の改善幅が大きく、プラス判断に転じた。
地域別は但馬・丹波地域が悪化、他の4地域は改善。全地域でマイナス判断となっている。
先行きは『製造業』は0・5ポイントの改善、『非製造業』は1・5ポイントの改善を予想している。

3 経常利益判断

製造業、非製造業ともに改善
『全産業』では7・2ポイントの改善の▲8・4となった。
『製造業』『非製造業』ともに改善した。
業種別は建設業、宿泊・飲食業は悪化、他の業種は改善し、医療・福祉はプラス判断に転じた。
地域別は但馬・丹波地域のみ悪化し、マイナス判断に転じた。
先行きは、『製造業』は悪化、『非製造業』は改善の予想で、全産業では0・7ポイントの改善を見込む。

項目	1. 景況判断			2. 売上高判断			3. 経常利益判断						
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]				
	2021年4～6月	2021年7～9月	2021年10～12月	2021年4～6月	2021年7～9月	2021年10～12月	2021年4～6月	2021年7～9月	2021年10～12月				
全産業	▲27.1	▲21.8	▲19.4	▲17.7	▲9.5	▲8.3	▲18.1	▲9.5	▲5.3	▲0.1	▲15.6	▲8.4	▲7.7
小規模企業	▲24.8	▲21.2	▲17.6	▲20.1	▲16.4	▲11.9	▲19.3	▲17.6	▲3.3	1.2	▲18.7	▲15.6	▲14.4
中小企業	▲29.8	▲23.5	▲21.3	▲16.8	▲8.4	▲7.7	▲18.0	▲7.2	▲5.9	▲1.1	▲15.1	▲8.1	▲6.2
中堅企業	▲19.7	▲16.6	▲14.8	▲18.1	▲3.1	▲4.8	▲17.1	▲5.9	▲5.6	1.4	▲13.2	1.3	▲3.1
製造業	▲29.9	▲24.3	▲23.0	▲16.8	▲6.6	▲6.1	▲17.9	▲7.2	▲3.5	0.3	▲14.7	▲5.6	▲7.1
小規模企業	▲32.3	▲31.0	▲24.1	▲19.4	▲27.6	▲13.8	▲25.8	▲31.0	3.2	▲3.4	▲22.6	▲27.6	▲17.2
中小企業	▲32.5	▲27.4	▲26.3	▲16.6	▲7.7	▲7.7	▲17.8	▲7.7	▲5.7	▲0.4	▲15.5	▲6.6	▲7.7
中堅企業	▲20.5	▲10.8	▲10.8	▲16.7	5.4	2.7	▲15.4	4.1	1.3	4.1	▲9.0	6.8	▲1.4
非製造業	▲26.0	▲20.9	▲18.1	▲18.0	▲10.5	▲9.0	▲18.2	▲10.3	▲6.0	▲0.3	▲15.9	▲9.4	▲7.9
小規模企業	▲24.0	▲20.4	▲17.0	▲20.2	▲15.4	▲11.7	▲18.4	▲16.3	▲4.1	1.6	▲18.3	▲14.5	▲14.2
中小企業	▲28.6	▲21.7	▲19.0	▲16.9	▲8.7	▲7.7	▲18.1	▲7.0	▲6.0	▲1.4	▲15.0	▲8.7	▲5.5
中堅企業	▲19.3	▲19.4	▲16.8	▲18.8	▲7.1	▲8.4	▲18.1	▲10.9	▲9.4	0.0	▲15.3	▲1.3	▲3.9

4 仕入価格判断

製造業、非製造業ともに上昇

『全産業』の判断は11・3と7・1ポイント上昇した。『製造業』は小規模企業が低下、中小、中堅企業が上昇、全体で12・7ポイント上昇した。『非製造業』は企業規模にかかわらず上昇、全体では5・0ポイント上昇した。業種別では運輸業、サービス業が低下し、他の業種は上昇した。宿泊・飲食業、サービス業のみがマイナス判断となった。

5 生産判断（製造業のみ）

7 四半期ぶりのプラス判断

製造業全体の判断は11・9ポイント上昇の0・9と4四半期連続で上昇し、7四半期ぶりにプラス判断に転じた。小規模企業は5・3ポイント上昇、中小企業は11・9ポイント上昇、中堅企業は15・2ポイント上昇した。

6 在庫判断

不足感やや弱まる

「適正」と判断する企業が全体の93・4%を占める。『全産業』では0・2ポイント低下の0・8となり、不足感がやや弱まった。業種別では製造業、小売業が過剰、建設業、卸売業、不動産業が不足となった。

7 資金繰り判断

4 四半期連続のプラス判断

全産業の判断は、1・9と1・0ポイント悪化するも4四半期連続のプラス判断となった。

『製造業』では、小規模企業は改善したが、中小、中堅企業が悪化し、全体では4・8ポイント悪化した。『非製造業』は、中小企業が悪化した。小規模、中堅企業が改善し、全体では0・5ポイント改善した。

項目	「上昇」-「低下」			「増加」-「減少」			「不足」-「過剰」			「楽である」-「苦しい」			「不足」-「過剰」			「増加」-「減少」		
	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月	【前回】 2021年 4～6月	【今回】 2021年 7～9月	【見通し】 2021年 10～12月
全産業	4.2	11.3	12.1	—	—	—	1.0	0.8	2.1	2.9	1.9	1.3	8.0	9.8	10.2	▲1.1	▲0.4	0.6
小規模企業	9.5	12.9	15.8	—	—	—	4.0	3.3	5.0	▲3.1	▲0.6	0.3	5.8	4.8	5.1	▲3.9	▲4.4	▲2.4
中小企業	3.0	11.9	12.4	—	—	—	▲0.4	0.0	1.0	4.1	1.5	0.6	8.8	11.0	11.2	▲1.7	0.5	0.6
中堅企業	1.8	6.6	5.3	—	—	—	2.4	0.0	1.8	6.1	7.4	5.7	7.5	13.1	14.4	4.9	2.7	5.3
製造業	3.5	16.2	14.9	▲11.0	0.9	1.8	▲1.1	▲1.9	▲0.3	7.2	2.4	1.3	4.3	10.8	10.8	▲1.6	1.9	2.4
小規模企業	22.6	20.7	17.2	▲20.7	▲15.4	▲11.5	▲3.2	0.0	3.6	▲9.7	▲3.4	0.0	3.2	10.3	6.9	▲6.5	3.6	7.1
中小企業	1.5	17.9	16.8	▲11.5	0.4	2.4	▲1.9	▲1.8	▲0.4	7.9	1.1	0.0	3.8	10.9	10.9	▲3.4	0.0	▲0.4
中堅企業	2.6	8.1	6.8	▲5.5	9.7	4.8	2.6	▲2.7	▲1.4	11.5	9.5	6.8	5.1	10.8	12.2	7.8	8.1	10.8
非製造業	4.5	9.5	11.1	—	—	—	1.9	1.8	2.9	1.3	1.8	1.3	9.4	9.5	10.0	▲0.9	▲1.1	0.0
小規模企業	7.9	12.2	15.7	—	—	—	4.9	3.5	5.1	▲2.3	▲0.3	0.3	6.1	4.3	4.9	▲3.6	▲5.1	▲3.2
中小企業	3.7	9.1	10.3	—	—	—	0.4	0.9	1.6	2.4	1.7	0.8	11.0	11.1	11.3	▲0.9	0.7	1.0
中堅企業	1.4	5.9	4.6	—	—	—	2.3	1.4	3.5	3.3	6.5	5.2	8.7	14.2	15.5	3.4	0.0	2.6

8 雇用判断

不足感はやや強まる

『全産業』では1・8ポイント上昇し、9・8と不足感はやや強まった。業種別では宿泊・飲食業が過剰から不足に転じ、すべての業種が不足となった。

9 設備投資判断

6 四半期連続のマイナス判断

『全産業』では0・7ポイント上昇の▲0・4となるも、6四半期連続のマイナス判断となった。中小、中堅企業はプラス判断となった。

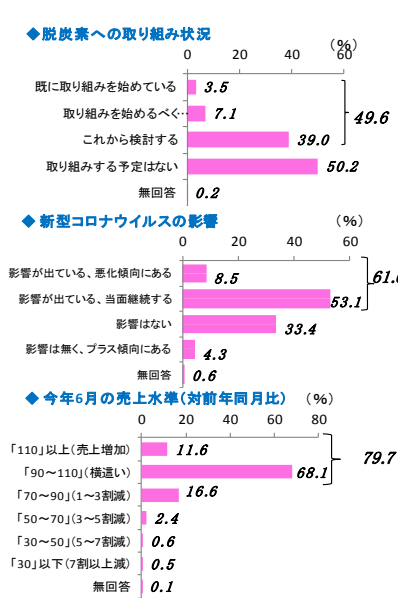
◆ 脱炭素への取り組み

脱炭素について、前向きな企業が49・6%（取り組みを始めている3・5%、検討を進めている7・1%、検討する39・0%）と半数を下回った。

◆ 新型コロナウイルスの影響

影響が出ているとする企業は61・6%となり、過去5回の調査と同様に6割を超えている。

今年6月の売上水準（前年同月比）は、「横這い」を含めて「増加」が79・7%となり、前回調査の3月比7・7ポイント改善した。



兵庫県内中小企業の景況調査

(2021年7月～9月期)

〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ 脱炭素への取り組みについて	13
◆ 新型コロナウイルスの影響について	15
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	20

本調査に関する問い合わせ先
みなと銀行 経営企画部広報室(担当:望月)
TEL 大代表(078)331-8141
直通 (078)333-3247

I. 調査方法等

- ◆調査時点 2021年8月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 聞き取りによるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,910社
- ◆有効回答数 1,453社(有効回答率76.1%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	399	27.5
阪神地域	397	27.3
播磨地域	500	34.4
但馬・丹波地域	58	4.0
淡路地域	99	6.8
無回答	0	0.0
合計	1,453	100.0

神戸地域・・・神戸市
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)
 但馬・丹波地域・・・丹波篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
製造業	379	26.1	
非製造業	建設業	242	16.7
	卸売業	218	15.0
	小売業	85	5.8
	不動産業	199	13.7
	運輸業	72	5.0
	宿泊・飲食業	21	1.4
	医療・福祉	71	4.9
	サービス業	112	7.7
その他	54	3.7	
非製造業	1,074	73.9	
無回答	0	0.0	
合計	1,453	100.0	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	165	11.4
500万円超～1千万円以下	437	30.1
1千万円超～2千万円以下	260	17.9
2千万円超～3千万円以下	161	11.1
3千万円超～5千万円以下	218	15.0
5千万円超～1億円以下	171	11.8
1億円超	30	2.1
無回答	11	0.8
合計	1,453	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	181	12.5
	6～10名	172	11.8
	小計	353	24.3
中小企業	11～20名	262	18.0
	21～50名	408	28.1
	51～100名	199	13.7
	小計	869	59.8
中堅企業	101～200名	126	8.7
	201名以上	104	7.2
小計	230	15.8	
無回答	1	0.1	
合計	1,453	100.0	

〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

II. 調査結果の概要

- ・景況判断は、5.3ポイント改善の▲21.8となった。5四半期連続の改善だが、マイナス判断が続いている。新型コロナウイルスの感染症が収束しておらず、29.0%が「悪い」と回答している。
- ・新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ている企業は61.6%であり、去年5月以降、過去5回の調査と同様に6割を超える。今年6月の売上水準は、前年同月比で「横這い」を含めて「増加」が79.7%となり、3月比7.7ポイント増え、改善のきざしが見える。
- ・脱炭素への取り組みについて、前向きな企業は49.6%(取り組みを始めている3.5%、検討を進めている7.1%、検討する39.0%)、一方「取り組みする予定はない」企業は50.2%となり、前向きな企業をやや上回っている。
- ・景況判断の今後の見通しは、2.4ポイント改善の▲19.4とみている。

景況判断 DI は5.3ポイント改善の▲21.8
先行きは2.4ポイント改善の▲19.4

項目	最近3ヵ月 〔2021年7月～9月〕	今後3ヵ月 〔2021年10月～12月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	・全産業では▲21.8と5四半期連続で改善。29.0%が「悪い」と回答。 ・製造業、非製造業ともに改善。	・全産業では2.4ポイント改善の▲19.4を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では8.2ポイント改善の▲9.5。 ・製造業、非製造業ともに販売数量、販売単価とも上昇。	・全産業では1.2ポイントの改善の▲8.3。 ・製造業は数量が上昇し、改善、非製造業は数量、単価とも上昇し、改善を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では7.2ポイント改善の▲8.4。 ・製造業は小規模企業が悪化するも全体では改善。非製造業は規模にかかわらず改善。	・全産業では0.7ポイント改善の▲7.7を予想。 ・製造業は悪化、非製造業は改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」-「低下」	・全産業では7.1ポイント上昇の11.3。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では0.8ポイント上昇の12.1を予想。 ・製造業は低下、非製造業は上昇を見込む。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」-「減少」	・製造業全体では11.9ポイント上昇の0.9と4四半期連続で上昇。 ・企業規模にかかわらず上昇し、7四半期ぶりのプラス判断。	・製造業全体では0.9ポイント上昇の1.8を予想。 ・小規模、中小企業は上昇、中堅企業は低下を見込む。
在庫判断 「不足」-「過剰」	・「適正」とする企業が9割超。 ・全産業では0.8と不足感がやや弱まった。 ・製造業は過剰、非製造業は不足と判断。	・今後とも「適正」とする企業が多い。 ・全産業では2.1と不足感がやや強まると予想。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	・全産業では1.9と1.0ポイント悪化するも4四半期連続のプラス判断。 ・「楽」および「普通」で大半を占める。	・全産業では0.6ポイント悪化の1.3を予想。 ・製造業、非製造業ともに悪化を見込む。
雇用判断 「不足」-「過剰」	・全産業では1.8ポイント上昇の9.8と不足感はやや強まった。 ・製造業、非製造業とも不足感は強まった。	・全産業では0.4ポイント上昇の10.2と不足感が強まると予想。
設備投資判断 「増加」-「減少」	・全産業では0.7ポイント上昇の▲0.4。 ・製造業は上昇、非製造業は低下。	・全産業では1.0ポイント上昇の0.6を予想。 ・製造業、非製造業ともに上昇を見込む。
脱炭素への取り組みについて	・脱炭素への取り組みについて、前向きな企業は49.6%(取り組みを始めている3.5%、検討を進めている7.1%、検討する39.0%)、一方「取り組みする予定はない」企業は50.2%となり、前向きな企業をやや上回っている。	
新型コロナウイルスの影響	・影響が出ているとする企業は61.6%であり、去年の5月以降過去5回の調査と同様に6割強の企業に影響が出ている。	
今年6月の売上水準	・売上水準(前年同月比)は、「横這い」を含めて「増加」が79.7%となり、前回調査(今年3月)比7.7ポイント改善した。	

Ⅲ. 個別項目の動向

1. 景況判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、5.3ポイント改善の▲21.8と5四半期連続で改善したが、マイナス判断が9四半期続いている。新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、29.0%の企業が「悪い」と回答している。

業種別・・・『製造業』は改善し、全体として5.6ポイント改善の▲24.3となった。

『非製造業』も改善し、全体では5.1ポイント改善の▲20.9となった。

『製造業』『非製造業』とも19年7～9月期以降9四半期連続のマイナス判断となった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)、『中小企業』(同11～100名)、『中堅企業』(同101名以上)ともに改善した。『中小企業』の改善幅が6.3ポイントと大きい。箇所

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は▲53.4と18.3ポイント悪化したが、他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。

業種別・・・『建設業』、『運輸業』、『宿泊・飲食業』、『サービス業』は悪化したが、これら以外の業種は改善した。特に『医療・福祉』は20.8ポイント、『小売業』は16.2ポイントと改善幅が大きい。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・先行きは、2.4ポイント改善の▲19.4を予想している。

業種別・・・『製造業』は1.3ポイント、『非製造業』は2.8ポイントの改善を見込む。

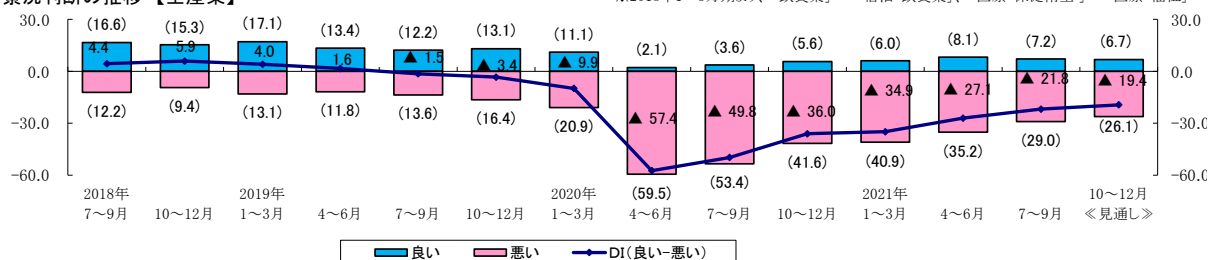
規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに改善を見込んでいる。

項目	「良い」-「悪い」				
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
全産業	▲36.0	▲34.9	▲27.1	▲21.8	▲19.4
小規模企業	▲33.0	▲31.7	▲24.8	▲21.2	▲17.6
中小企業	▲37.3	▲35.9	▲29.8	▲23.5	▲21.3
中堅企業	▲34.5	▲35.1	▲19.7	▲16.6	▲14.8
製造業	▲46.3	▲37.9	▲29.9	▲24.3	▲23.0
小規模企業	▲60.9	▲38.9	▲32.3	▲31.0	▲24.1
中小企業	▲46.6	▲40.9	▲32.5	▲27.4	▲26.3
中堅企業	▲40.8	▲28.2	▲20.5	▲10.8	▲10.8
非製造業	▲31.9	▲33.8	▲26.0	▲20.9	▲18.1
小規模企業	▲30.4	▲31.4	▲24.0	▲20.4	▲17.0
中小企業	▲32.7	▲33.5	▲28.6	▲21.7	▲19.0
中堅企業	▲31.3	▲39.1	▲19.3	▲19.4	▲16.8

【参考】

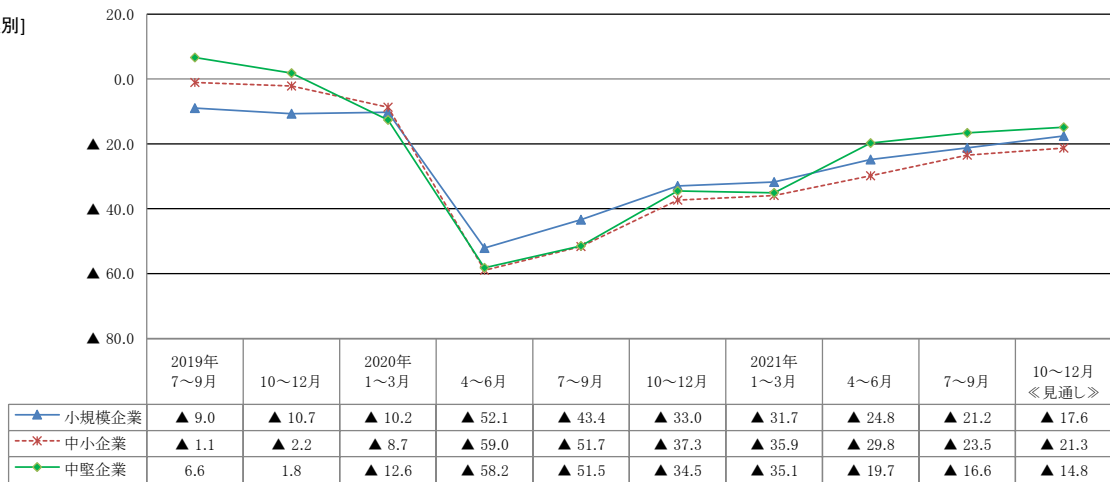
項目	「良い」-「悪い」					
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲48.8	▲42.1	▲38.6	▲30.6	▲25.6
	阪神地域	▲30.1	▲30.8	▲15.9	▲10.3	▲9.3
	播磨地域	▲28.2	▲27.8	▲20.0	▲18.2	▲17.2
	但馬・丹波地域	▲45.1	▲38.5	▲35.1	▲53.4	▲46.6
	淡路地域	▲40.6	▲52.9	▲42.1	▲32.3	▲29.3
	製造業	▲46.3	▲37.9	▲29.9	▲24.3	▲23.0
業種別	建設業	▲24.9	▲21.2	▲16.7	▲17.4	▲14.5
	卸売業	▲41.0	▲33.9	▲32.9	▲24.3	▲22.5
	小売業	▲37.3	▲56.1	▲33.8	▲17.6	▲20.0
	不動産業	▲21.9	▲22.1	▲13.4	▲12.1	▲11.1
	運輸業	▲30.9	▲36.9	▲20.9	▲23.6	▲12.5
	宿泊・飲食業	▲43.5	▲92.3	▲82.1	▲85.7	▲61.9
	医療・福祉	▲29.4	▲34.7	▲25.0	▲4.2	▲8.5
	サービス業	▲38.4	▲46.8	▲34.4	▲35.7	▲27.7
	その他	▲33.3	▲24.6	▲26.0	▲24.1	▲22.2

景況判断の推移【全産業】

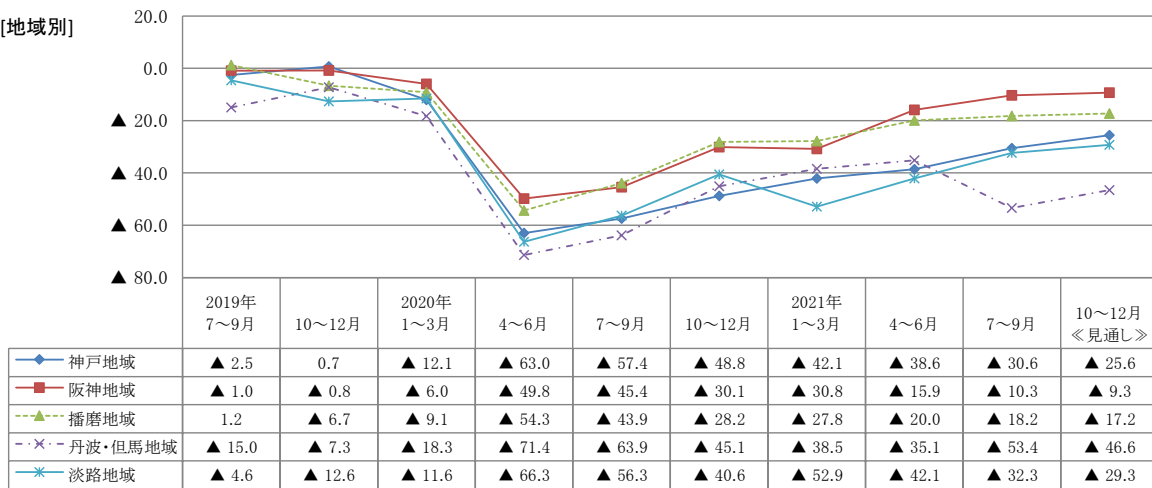


景況判断の推移明細

[規模別]



[地域別]



[業種別]
(一部抜粋)



2. 売上高判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、全体では8.2ポイント改善の▲9.5となった。

業種別・・・『製造業』は、10.2ポイント改善の▲6.6となった。『非製造業』は、7.5ポイント改善の▲10.5となった。

規模別・・・販売数量は企業規模にかかわらず上昇し、全体では8.6ポイント上昇の▲9.5となった。販売単価も企業規模にかかわらず上昇し、全体では4.2ポイント上昇の▲0.1となった。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は悪化したが、他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。『但馬・丹波地域』は前回プラス判断に転じたが、再びマイナス判断となった。

業種別・・・『建設業』、『宿泊・飲食業』は悪化し、他の業種は改善した。特に『医療・福祉』は23.4ポイントと大きく改善し、プラス判断に転じた。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・先行きは、1.2ポイント改善し、▲8.3になると予想している。

業種別・・・『製造業』は0.5ポイント改善の▲6.1、『非製造業』は1.5ポイント改善の▲9.0を見込む。

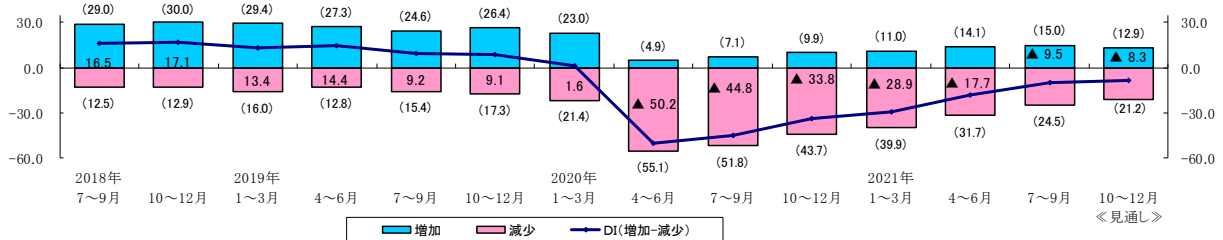
規模別・・・小規模企業、中小企業はともに販売数量、販売単価とも上昇、中堅企業は販売数量、販売単価とも低下すると見込んでいる。

項目	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》
全産業	▲33.8	▲28.9	▲17.7	▲9.5	▲8.3
販売数量	▲32.6	▲29.1	▲18.1	▲9.5	▲8.4
小規模企業	▲26.5	▲25.5	▲19.3	▲17.6	▲13.8
中小企業	▲36.2	▲30.5	▲18.0	▲7.2	▲6.3
中堅企業	▲26.2	▲27.0	▲17.1	▲5.9	▲8.6
販売単価	▲9.7	▲9.7	▲5.3	▲0.1	1.1
小規模企業	▲8.8	▲4.8	▲3.3	1.2	3.0
中小企業	▲11.3	▲11.1	▲5.9	▲1.1	0.7
中堅企業	▲4.7	▲10.8	▲5.6	1.4	0.0
製造業	▲44.0	▲28.2	▲16.8	▲6.6	▲6.1
販売数量	▲43.1	▲27.4	▲17.9	▲7.2	▲5.3
販売単価	▲10.3	▲8.8	▲3.5	0.3	0.3
非製造業	▲29.8	▲29.2	▲18.0	▲10.5	▲9.0
販売数量	▲28.3	▲29.7	▲18.2	▲10.3	▲9.6
販売単価	▲9.4	▲10.1	▲6.0	▲0.3	1.5

項目	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲45.4	▲35.5	▲29.9	▲19.3	▲16.0
	阪神地域	▲22.6	▲20.7	▲11.5	▲5.0	▲3.0
	播磨地域	▲30.1	▲25.3	▲11.3	▲3.0	▲3.4
	但馬・丹波地域	▲25.5	▲34.6	5.4	▲19.0	▲17.2
	淡路地域	▲44.6	▲42.5	▲22.1	▲15.2	▲17.2
業種別	製造業	▲44.0	▲28.2	▲16.8	▲6.6	▲6.1
	建設業	▲16.7	▲15.9	▲4.8	▲9.9	▲6.6
	卸売業	▲41.0	▲30.2	▲25.4	▲12.4	▲14.7
	小売業	▲35.8	▲48.8	▲23.8	▲12.9	▲7.1
	不動産業	▲14.2	▲19.6	▲10.4	▲4.0	▲4.0
	運輸業	▲38.2	▲29.2	▲14.9	▲9.7	▲4.2
	宿泊・飲食業	▲43.5	▲92.3	▲64.3	▲66.7	▲52.4
	医療・福祉	▲27.5	▲16.3	▲16.4	7.0	5.6
	サービス業	▲42.4	▲47.7	▲20.4	▲16.1	▲13.4
	その他	▲35.3	▲19.3	▲26.0	▲16.7	▲18.5

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

売上高判断の推移【全産業】



3. 経常利益判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月~9月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、7.2ポイント改善の▲8.4となった。

業種別・・・『製造業』は9.1ポイント改善の▲5.6、『非製造業』は6.5ポイント改善の▲9.4となった。『製造業』では、小規模企業は悪化、中小・中堅企業は改善。『非製造業』は企業規模にかかわらず改善した。

規模別・・・『小規模企業』は3.1ポイント、『中小企業』は7.0ポイント、『中堅企業』は14.5ポイント改善。『中堅企業』はプラス判断に転じた。

【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は▲15.5と26.3ポイントの大幅な悪化となり、再びマイナス判断に転じた。他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。

業種別・・・『建設業』、『宿泊・飲食業』は悪化した。他の業種は改善した。特に『医療・福祉』が23.8ポイント、『小売業』が16.5ポイントと改善幅が大きく、『医療・福祉』はプラス判断に転じた。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・先行きは、0.7ポイント改善の▲7.7を見込む。

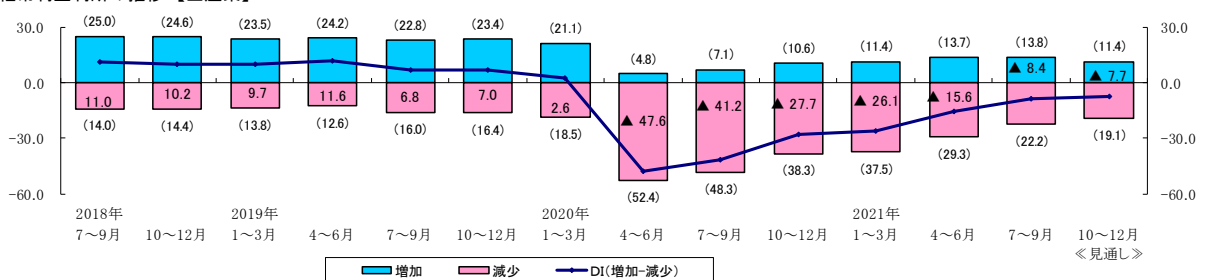
業種別・・・『製造業』が1.5ポイント悪化の▲7.1、『非製造業』は1.5ポイント改善の▲7.9と予想している。

規模別・・・『小規模企業』は1.2ポイント改善の▲14.4、『中小企業』は1.9ポイントの改善の▲6.2、『中堅企業』は4.4ポイントの悪化の▲3.1を見込んでいる。

項目	「増加」-「減少」				
	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》
全産業	▲27.7	▲26.1	▲15.6	▲8.4	▲7.7
小規模企業	▲19.8	▲26.6	▲18.7	▲15.6	▲14.4
中小企業	▲31.7	▲26.8	▲15.1	▲8.1	▲6.2
中堅企業	▲21.8	▲22.5	▲13.2	1.3	▲3.1
製造業	▲36.9	▲23.9	▲14.7	▲5.6	▲7.1
小規模企業	▲30.4	▲16.7	▲22.6	▲27.6	▲17.2
中小企業	▲41.0	▲28.6	▲15.5	▲6.6	▲7.7
中堅企業	▲23.7	▲11.7	▲9.0	6.8	▲1.4
非製造業	▲24.0	▲26.9	▲15.9	▲9.4	▲7.9
小規模企業	▲18.8	▲27.3	▲18.3	▲14.5	▲14.2
中小企業	▲27.0	▲25.9	▲15.0	▲8.7	▲5.5
中堅企業	▲20.8	▲28.8	▲15.3	▲1.3	▲3.9

項目	「増加」-「減少」					
	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲40.7	▲32.6	▲25.4	▲15.3	▲13.5
	阪神地域	▲18.3	▲18.9	▲14.9	▲7.8	▲5.0
	播磨地域	▲21.9	▲22.2	▲7.7	▲1.2	▲3.4
	但馬・丹波地域	▲29.4	▲28.8	10.8	▲15.5	▲12.1
	淡路地域	▲33.7	▲41.4	▲23.2	▲15.2	▲14.1
	製造業	▲36.9	▲23.9	▲14.7	▲5.6	▲7.1
業種別	建設業	▲19.0	▲16.3	▲1.9	▲9.5	▲5.8
	卸売業	▲33.0	▲23.9	▲23.9	▲12.4	▲11.0
	小売業	▲20.9	▲33.8	▲20.0	▲3.5	▲1.2
	不動産業	▲6.5	▲20.2	▲7.9	▲6.0	▲6.5
	運輸業	▲27.9	▲26.2	▲16.4	▲12.5	▲8.3
	宿泊・飲食業	▲47.8	▲92.3	▲60.7	▲71.4	▲66.7
	医療・福祉	▲19.6	▲22.4	▲12.5	11.3	11.3
	サービス業	▲33.6	▲43.2	▲14.0	▲9.8	▲9.8
	その他	▲33.3	▲28.1	▲29.2	▲16.7	▲18.5

経常利益判断の推移【全産業】



4. 仕入価格判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は7.1ポイント上昇の11.3となった。

業種別・・・『製造業』は小規模企業で低下し、中小・中堅企業で上昇し、全体では12.7ポイント上昇の16.2となった。『非製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では5.0ポイント上昇の9.5となった。

規模別・・・各規模とも上昇。上昇幅は『小規模企業』では3.4ポイント、『中小企業』は8.9ポイント、『中堅企業』は4.8ポイントとなった。

【参考】

地域別・・・5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)全てで上昇した。『淡路地域』、『播磨地域』がそれぞれ13.8ポイント、10.0ポイントと上昇幅が大きかった。

業種別・・・『運輸業』、『サービス業』は低下し、他の業種は上昇した。『宿泊・飲食業』、『サービス業』のみがマイナス判断となった。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・先行きは、0.8ポイント上昇の12.1と予想している。

業種別・・・『製造業』は1.3ポイント低下の14.9、『非製造業』は1.6ポイント上昇の11.1を見込む。

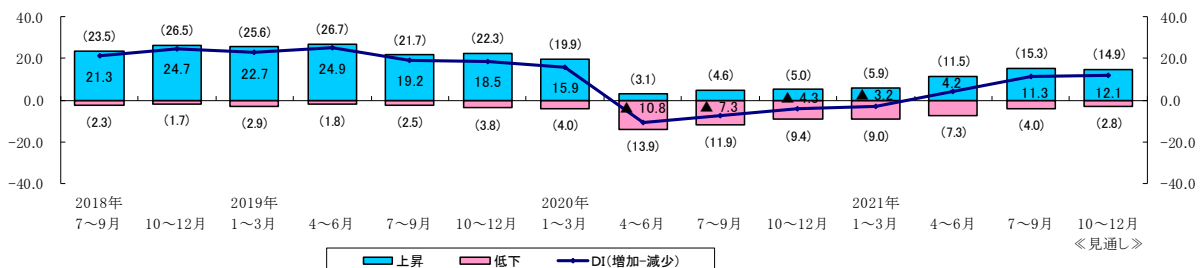
規模別・・・『小規模企業』は2.9ポイント、『中小企業』は0.5ポイント上昇し、『中堅企業』は1.3ポイント低下するとみている。

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
全産業	▲4.3	▲3.2	4.2	11.3	12.1
小規模企業	▲1.5	1.8	9.5	12.9	15.8
中小企業	▲5.3	▲4.9	3.0	11.9	12.4
中堅企業	▲3.7	▲3.9	1.8	6.6	5.3
製造業	▲4.5	▲4.8	3.5	16.2	14.9
小規模企業	8.7	0.0	22.6	20.7	17.2
中小企業	▲5.7	▲5.0	1.5	17.9	16.8
中堅企業	▲3.9	▲6.5	2.6	8.1	6.8
非製造業	▲4.3	▲2.5	4.5	9.5	11.1
小規模企業	▲2.5	2.0	7.9	12.2	15.7
中小企業	▲5.1	▲4.8	3.7	9.1	10.3
中堅企業	▲3.5	▲2.4	1.4	5.9	4.6

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲16.4	▲9.4	1.9	5.8	5.8
	阪神地域	▲2.2	0.4	3.8	8.8	10.9
	播磨地域	0.4	▲0.4	6.2	16.2	17.0
	但馬・丹波地域	9.8	1.9	10.8	15.5	13.8
	淡路地域	3.1	▲5.8	2.2	16.0	16.0
業種別	製造業	▲4.5	▲4.8	3.5	16.2	14.9
	建設業	0.5	4.0	12.3	15.5	17.6
	卸売業	▲3.0	▲3.2	4.7	11.0	11.0
	小売業	▲3.0	▲9.9	5.0	12.9	12.9
	不動産業	▲1.4	3.3	10.3	13.1	17.8
	運輸業	▲9.4	▲6.9	8.5	1.5	▲1.5
	宿泊・飲食業	▲26.1	▲30.8	▲14.3	▲4.8	▲4.8
	医療・福祉	0.0	2.5	▲12.2	1.5	4.5
	サービス業	▲13.1	▲8.4	▲2.4	▲2.8	0.0
	その他	▲6.0	▲3.8	▲5.6	9.6	7.7

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

仕入価格判断の推移【全産業】



5. 生産判断（製造業のみ）

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全体……最近3ヵ月の生産判断DI(「増加」-「減少」)は11.9ポイント上昇の0.9となり、4四半期連続で上昇し、19年10～12月期以来の7四半期ぶりのプラス判断となった。

規模別……『小規模企業』は5.3ポイント、『中小企業』は11.9ポイント、『中堅企業』が15.2ポイント上昇した。

【参考】

地域別……『但馬・丹波地域』で低下し、他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)で上昇した。『阪神地域』、『播磨地域』はプラス判断に転じ、『淡路地域』はマイナス判断を脱した。マイナス判断は『神戸地域』のみとなった。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

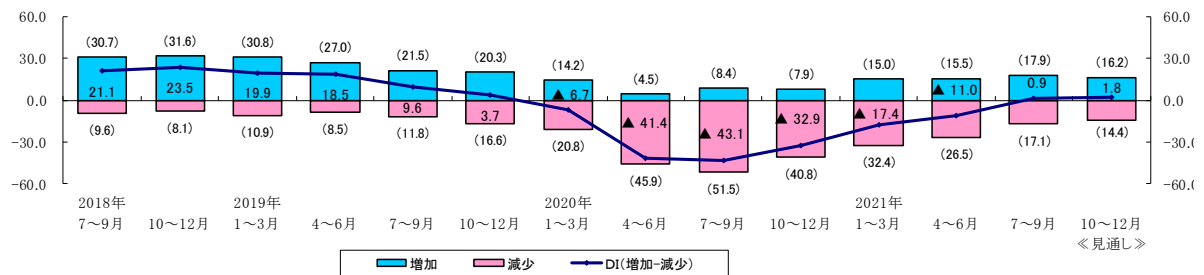
全体……先行きは、1.8と0.9ポイントの上昇を見込む。

規模別……『小規模企業』は3.9ポイント、『中小企業』は2.0ポイントの上昇、『中堅企業』は4.9ポイントの低下を見込む。

項目	「増加」-「減少」				
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
製造業	▲32.9	▲17.4	▲11.0	0.9	1.8
小規模企業	▲45.5	▲17.6	▲20.7	▲15.4	▲11.5
中小企業	▲33.1	▲22.1	▲11.5	0.4	2.4
中堅企業	▲28.2	▲1.4	▲5.5	9.7	4.8

項目	「増加」-「減少」				
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
地域別					
神戸地域	▲44.4	▲18.8	▲25.4	▲17.5	▲14.0
阪神地域	▲32.6	▲17.0	▲26.2	2.5	▲1.4
播磨地域	▲26.0	▲14.1	▲1.0	5.8	5.6
但馬・丹波地域	▲45.0	▲21.1	6.7	4.5	13.0
淡路地域	▲47.8	▲40.0	▲32.1	0.0	0.0

生産判断の推移【製造業】



6. 在庫判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月~9月]

全産業・・・「適正」と判断する企業が全体の93.4%を占める。最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、『全産業』が0.2ポイント低下の0.8となり、不足感がやや弱まった。

業種別・・・『製造業』は過剰感が0.8ポイント強まり▲1.9、一方『非製造業』は不足感が0.1ポイント弱まり1.8となった。

規模別・・・『小規模企業』は3.3と不足、『中小企業』と『中堅企業』は0.0と過不足なしと判断している。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』、『但馬・丹波地域』は不足、『神戸地域』、『播磨地域』、『淡路地域』は過剰となった。

業種別・・・『製造業』、『小売業』が過剰、『建設業』、『卸売業』、『不動産業』が不足となっている。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・今後についても「適正」とする企業が94.1%と多いが、先行きは2.1となり、不足感がやや強まると予想している。

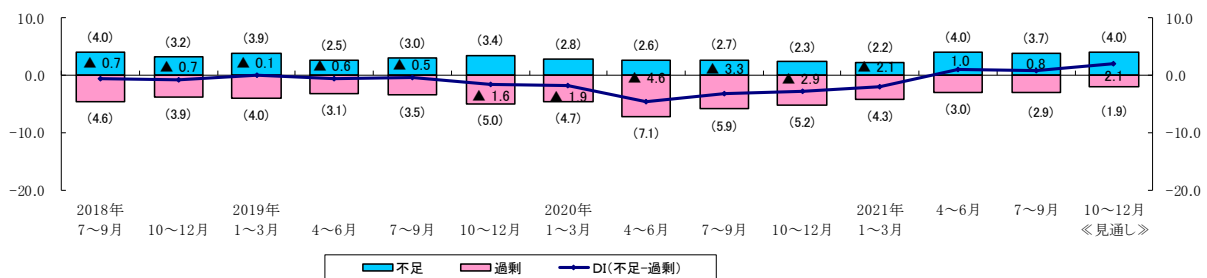
業種別・・・『製造業』は▲0.3と過剰感がやや弱まり、『非製造業』は2.9と不足感がやや強まると見ている。

規模別・・・『小規模企業』は不足感がやや強まり、『中小企業』、『中堅企業』は過不足なしから不足に転じると予想している。

項目	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》
全産業	▲2.9	▲2.1	1.0	0.8	2.1
小規模企業	▲1.2	▲1.5	4.0	3.3	5.0
中小企業	▲4.1	▲2.9	▲0.4	0.0	1.0
中堅企業	▲0.5	0.5	2.4	0.0	1.8
製造業	▲3.4	▲5.6	▲1.1	▲1.9	▲0.3
小規模企業	▲4.3	▲5.6	▲3.2	0.0	3.6
中小企業	▲4.9	▲7.3	▲1.9	▲1.8	▲0.4
中堅企業	2.6	0.0	2.6	▲2.7	▲1.4
非製造業	▲2.7	▲0.6	1.9	1.8	2.9
小規模企業	▲0.9	▲1.2	4.9	3.5	5.1
中小企業	▲3.6	▲0.6	0.4	0.9	1.6
中堅企業	▲2.2	0.8	2.3	1.4	3.5

項目	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲5.6	▲4.2	▲1.3	▲0.3	0.3
	阪神地域	0.0	1.8	6.5	4.0	6.1
	播磨地域	▲3.9	▲4.1	▲0.6	▲0.2	0.8
	但馬・丹波地域	▲2.0	5.9	10.8	3.7	3.7
	淡路地域	4.1	1.2	▲1.1	▲4.3	▲1.1
業種別 非製造業	製造業	▲3.4	▲5.6	▲1.1	▲1.9	▲0.3
	建設業	▲1.0	1.6	4.8	5.3	6.6
	卸売業	▲9.5	0.0	▲1.9	0.5	0.5
	小売業	▲6.0	▲14.6	1.3	▲2.4	▲1.2
不動産業	1.5	3.4	7.4	3.1	5.2	

在庫判断の推移【全産業】



7. 資金繰り判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、1.0ポイント悪化の1.9となるが、4四半期連続のプラス判断となった。

全体では「楽である」(7.2%)と「普通」(87.5%)を合わせて94.7%と大半を占める。

業種別・・・『製造業』は4.8ポイント悪化の2.4となった。小規模企業が6.3ポイント改善の▲3.4、中小企業が6.8ポイント悪化の1.1、中堅企業が2.0ポイント悪化の9.5となった。『非製造業』は0.5ポイント改善の1.8となった。小規模企業は2.0ポイント改善の▲0.3、中小企業は0.7ポイント悪化の1.7、中堅企業は3.2ポイント改善の6.5となった。

規模別・・・『小規模企業』、『中堅企業』は改善し、『中小企業』は悪化した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『阪神地域』は改善し、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』は悪化した。

業種別・・・『製造業』、『卸売業』、『不動産業』、『運輸業』、『サービス業』が悪化した。他の業種は改善ないし横ばいであった。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・先行きは、0.6ポイント悪化の1.3を見込む。

業種別・・・『製造業』は1.1ポイント悪化の1.3、『非製造業』は0.5ポイント悪化の1.3を見込む。

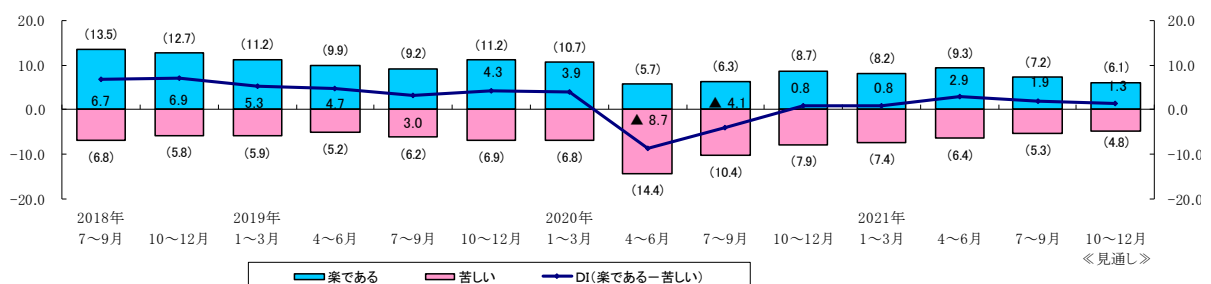
規模別・・・『小規模企業』は改善、『中小企業』、『中堅企業』は悪化すると予想している。

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
全産業	0.8	0.8	2.9	1.9	1.3
小規模企業	▲2.6	▲1.0	▲3.1	▲0.6	0.3
中小企業	0.8	1.5	4.1	1.5	0.6
中堅企業	5.0	1.4	6.1	7.4	5.7
製造業	1.6	4.8	7.2	2.4	1.3
小規模企業	▲4.3	0.0	▲9.7	▲3.4	0.0
中小企業	▲0.4	5.0	7.9	1.1	0.0
中堅企業	10.5	5.2	11.5	9.5	6.8
非製造業	0.5	▲0.6	1.3	1.8	1.3
小規模企業	▲2.4	▲1.1	▲2.3	▲0.3	0.3
中小企業	1.4	▲0.2	2.4	1.7	0.8
中堅企業	2.1	▲0.8	3.3	6.5	5.2

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲1.8	1.5	2.9	3.0	1.5
	阪神地域	▲1.4	▲1.7	▲2.0	▲1.0	0.8
	播磨地域	4.9	4.2	6.9	5.6	4.2
	但馬・丹波地域	▲5.9	▲11.5	▲5.4	▲6.9	▲8.6
	淡路地域	▲1.0	▲4.6	0.0	▲4.0	▲6.1
	製造業	1.6	4.8	7.2	2.4	1.3
業種別	建設業	8.1	3.8	4.8	6.6	4.5
	卸売業	▲0.5	2.6	4.7	0.0	▲0.5
	小売業	▲3.0	▲14.6	▲8.8	0.0	0.0
	不動産業	2.6	▲1.8	2.4	0.0	1.0
	運輸業	0.0	0.0	▲3.0	▲4.2	▲4.2
	宿泊・飲食業	▲26.1	▲34.6	▲39.3	▲19.0	▲23.8
	医療・福祉	2.0	0.0	0.0	0.0	2.8
	サービス業	▲4.0	2.7	7.6	7.1	5.4
	その他	▲7.8	3.5	2.1	3.7	3.7

※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

資金繰り判断の推移【全産業】



8. 雇用判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、1.8ポイント上昇の9.8と、不足感はやや強まった。

業種別・・・『製造業』は6.5ポイント上昇の10.8、『非製造業』は0.1ポイント上昇の9.5となった。

規模別・・・『小規模企業』は1.0ポイント低下し、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ2.2ポイント、5.6ポイント上昇した。

【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『淡路地域』は低下し、『阪神地域』、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』は上昇した。特に『但馬・丹波地域』、『播磨地域』はそれぞれ27.6、12.2となり、不足感が強まった。

業種別・・・『建設業』、『小売業』、『運輸業』、『サービス業』、『その他』は低下、他の業種は上昇した。『宿泊・飲食業』が19.1ポイント上昇し、20年4～6月期に過剰に転じて以降6四半期ぶりに不足に転じ、すべての業種が不足の状態となった。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・先行きは、10.2と0.4ポイント上昇し、不足感がやや強まる予想となった。

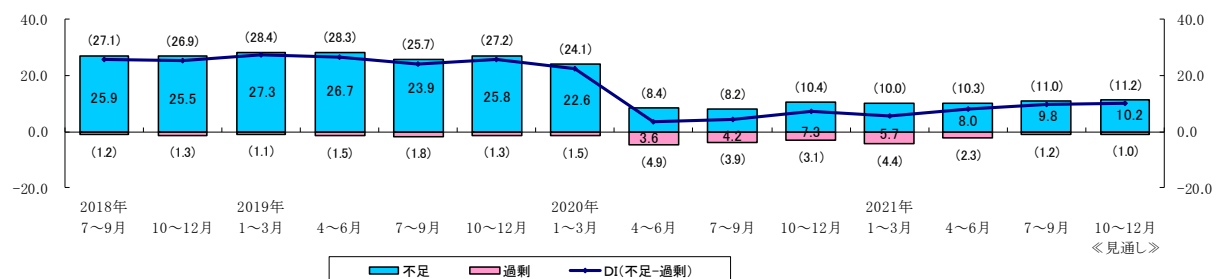
業種別・・・『製造業』は横ばいの10.8、『非製造業』は0.5ポイント上昇の10.0と不足感はやや強まると予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに不足感が強まると見ている。

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
全産業	7.3	5.7	8.0	9.8	10.2
小規模企業	4.0	6.6	5.8	4.8	5.1
中小企業	8.7	5.5	8.8	11.0	11.2
中堅企業	5.9	5.2	7.5	13.1	14.4
製造業	3.9	1.4	4.3	10.8	10.8
小規模企業	8.7	0.0	3.2	10.3	6.9
中小企業	3.5	1.2	3.8	10.9	10.9
中堅企業	3.9	2.6	5.1	10.8	12.2
非製造業	8.6	7.3	9.4	9.5	10.0
小規模企業	3.6	7.0	6.1	4.3	4.9
中小企業	11.3	7.6	11.0	11.1	11.3
中堅企業	6.9	6.8	8.7	14.2	15.5

項目	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	7.3	6.3	9.9	6.3	7.3
	阪神地域	6.1	6.4	5.4	7.6	7.6
	播磨地域	7.2	4.4	5.7	12.2	12.6
	但馬・丹波地域	7.8	11.5	13.5	27.6	25.9
	淡路地域	10.9	3.4	16.8	11.1	11.1
業種別	製造業	3.9	1.4	4.3	10.8	10.8
	建設業	23.1	24.5	20.6	19.8	19.8
	卸売業	3.0	▲4.2	4.7	5.0	5.5
	小売業	7.5	7.3	10.0	2.4	2.4
	不動産業	2.6	1.8	1.2	2.5	2.5
	運輸業	13.2	9.2	16.4	11.1	13.9
	宿泊・飲食業	▲8.7	▲15.4	▲14.3	4.8	4.8
	医療・福祉	5.9	16.3	5.4	19.7	22.5
	サービス業	6.4	4.5	10.9	7.1	7.1
	その他	▲2.0	3.5	11.5	9.3	9.3

雇用判断の推移【全産業】



※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

9. 設備投資判断

(1) 最近3ヵ月 [2021年7月～9月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、0.7ポイント上昇の▲0.4となるも、6四半期連続のマイナス判断となった。

業種別・・・『製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では3.5ポイント上昇の1.9となり、プラス判断に転じた。『非製造業』は小規模、中堅企業が低下、中小企業が上昇し、全体では0.2ポイント低下の▲1.1となった。

規模別・・・『小規模企業』が0.5ポイント低下の▲4.4、『中小企業』が2.2ポイント上昇の0.5、『中堅企業』が2.2ポイント低下の2.7となった。『中小企業』はプラス判断に転じた。

【参考】

地域別・・・『阪神地域』、『播磨地域』が上昇し、『神戸地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』が低下した。『播磨地域』がプラス判断に、『淡路地域』がマイナス判断に転じた。

業種別・・・『製造業』、『卸売業』、『運輸業』、『宿泊・飲食業』、『その他』は上昇し、他の業種は低下した。『製造業』、『卸売業』はプラス判断に、『小売業』、『不動産業』、『サービス業』はマイナス判断に転じた。

(2) 今後3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・先行きは、1.0ポイント上昇の0.6を見込む。

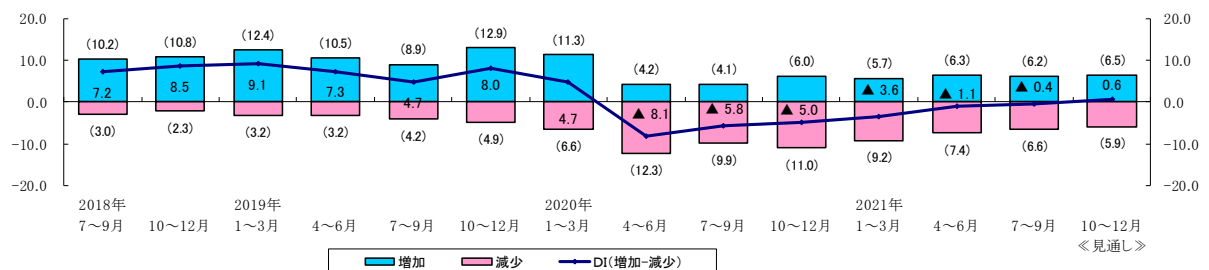
業種別・・・『製造業』は0.5ポイント上昇の2.4、『非製造業』も1.1ポイント上昇の0.0を予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ2.0ポイント、0.1ポイント、2.6ポイントの上昇を予想している。

項目	「増加」-「減少」				
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》
全産業	▲5.0	▲3.6	▲1.1	▲0.4	0.6
小規模企業	▲5.3	▲6.8	▲3.9	▲4.4	▲2.4
中小企業	▲5.0	▲4.0	▲1.7	0.5	0.6
中堅企業	▲4.6	2.4	4.9	2.7	5.3
製造業	▲7.9	▲4.2	▲1.6	1.9	2.4
小規模企業	▲13.0	▲5.6	▲6.5	3.6	7.1
中小企業	▲7.8	▲5.4	▲3.4	0.0	▲0.4
中堅企業	▲6.6	0.0	7.8	8.1	10.8
非製造業	▲3.8	▲3.3	▲0.9	▲1.1	0.0
小規模企業	▲4.6	▲6.9	▲3.6	▲5.1	▲3.2
中小企業	▲3.6	▲3.4	▲0.9	0.7	1.0
中堅企業	▲3.5	3.8	3.4	0.0	2.6

項目	「増加」-「減少」					
	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲6.1	▲5.6	▲3.9	▲5.0	▲2.3
	阪神地域	▲4.5	▲2.1	0.4	1.9	0.5
	播磨地域	▲5.5	▲2.7	▲1.4	1.6	3.0
	但馬・丹波地域	▲7.8	▲7.7	5.4	5.3	8.6
	淡路地域	2.0	▲1.1	6.4	▲3.0	▲4.0
業種別	製造業	▲7.9	▲4.2	▲1.6	1.9	2.4
	建設業	▲0.9	1.0	▲0.5	▲1.7	▲0.4
	卸売業	▲8.2	▲5.3	▲5.8	0.5	0.9
	小売業	▲10.4	▲10.0	2.6	▲3.6	▲3.6
	不動産業	1.4	▲3.9	0.0	▲1.6	▲1.1
	運輸業	▲10.4	0.0	3.0	4.2	6.9
	宿泊・飲食業	▲13.0	▲19.2	▲14.3	0.0	▲4.8
	医療・福祉	8.0	12.5	7.4	1.4	11.6
	サービス業	▲4.8	▲6.3	3.3	▲5.4	▲5.4
	その他	▲2.0	▲5.5	▲3.2	▲1.9	▲3.7

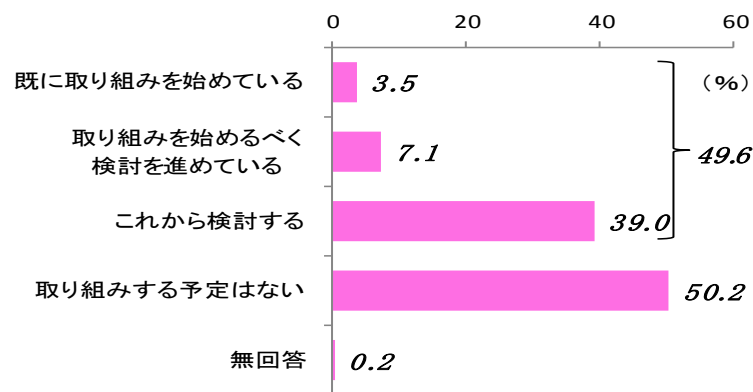
設備投資判断の推移【全産業】



◆ 脱炭素への取り組みについて

(1) 取り組み状況

- 脱炭素への取り組みについて、前向きな企業は 49.6%（「既に取り組みを始めている」 3.5%、「取り組みを始めるべく検討を進めている」 7.1%、「これから検討する」 39.0%）、一方「取り組みする予定はない」企業が 50.2%となり、前向きな企業をやや上回っている。
- 規模別に取り組み状況をみると、「既に取り組みを始めている」企業は、中小企業が 4.5%、中堅企業が 3.5%に対して小規模企業は 1.1%にとどまっている。一方「取り組みする予定はない」企業は、中堅企業が 40.0%に対し、小規模企業は 62.0%となっており、規模による差が大きい。
- 業種別にみると「既に取り組みを始めている」企業は、製造業が 5.0%、非製造業が 3.0%となっている。また、「取り組みする予定はない」企業は製造業が 39.3%、非製造業が 54.0%となっており、製造業の方が脱炭素への取り組みについて前向きである。

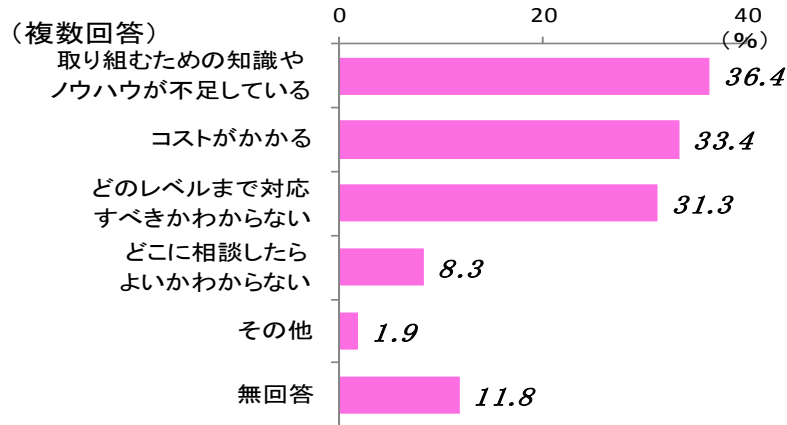


(%)

	回答企業数 (社)	① 既に取り組みを始めている	② 取り組みを始めるべく検討を進めている	③ これから検討する	①+②+③ 取り組みに前向き	取り組みする予定はない	無回答	合計	
全産業	1,453	3.5	7.1	39.0	49.6	50.2	0.2	100.0	
規模別	小規模企業	353	1.1	3.4	33.1	37.6	62.0	0.3	100.0
	中小企業	869	4.5	7.6	39.6	51.7	48.1	0.2	100.0
	中堅企業	230	3.5	10.9	45.7	60.1	40.0	0.0	100.0
業種別	製造業	379	5.0	11.3	44.3	60.6	39.3	0.0	100.0
	非製造業	1,074	3.0	5.6	37.2	45.8	54.0	0.3	100.0

(2) 取り組みにあたっての一番の課題

- ・取り組みにあたっての課題は、「取り組むための知識やノウハウが不足している」が 36.4%、「コストがかかる」が 33.4%、「どのレベルまで対応すべきかわからない」が 31.3%、「どこに相談したらよいかわからない」が 8.3%という結果になった。
- ・規模別に課題をみてみると、小規模、中小企業は「取り組むための知識やノウハウが不足している」がそれぞれ 34.8%、37.6%と一番高く、中堅企業は「コストがかかる」と「どのレベルまで対応すべきかわからない」がともに 37.8%と高くなった。
- ・業種別にみると、製造業、非製造業ともに「取り組むための知識やノウハウが不足している」がそれぞれ 40.9%、34.8%と一番高い結果となった。



(複数回答)

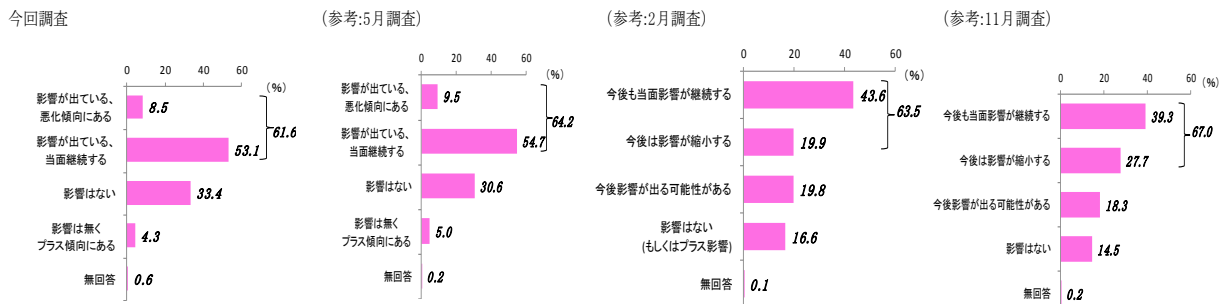
(%)

		回答 企業数 (社)	取り組むための 知識やノウ ハウが不足し ている	コストがかかる	どのレベルま で対応すべ きかわからな い	どこに相談し たらよいかわ からない	その他	無回答
全産業		1,453	36.4	33.4	31.3	8.3	1.9	11.8
規模別	小規模企業	353	34.8	30.9	26.6	10.2	2.0	15.9
	中小企業	869	37.6	33.1	31.5	8.7	2.0	10.7
	中堅企業	230	33.9	37.8	37.8	3.9	1.3	10.0
業種別	製造業	379	40.9	33.8	35.1	7.9	1.3	9.0
	非製造業	1,074	34.8	33.2	30.0	8.5	2.0	12.8

◆ 新型コロナウイルスの影響について

(1) 経営への影響

- ・新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ているとする企業は今回 61.6%(今年 5 月 64.2%、2 月 63.5%、去年 11 月 67.0%、8 月 66.5%、5 月 67.4%) となり、過去 5 回の調査と同様に 6 割を超えている。
- ・規模別に影響のある企業をみると、小規模企業は 49.8%(同 55.8%、59.3%、54.6%、54.7%、60.8%)、中小企業は 64.8%(同 66.6%、64.6%、69.6%、69.3%、68.7%)、中堅企業が 67.9%(同 65.8%、64.9%、72.2%、72.6%、70.9%) となっており、過去 5 回の調査と同様に小規模企業より中小、中堅企業の方が高いという結果となった。
- ・業種別に影響のある企業をみると、宿泊・飲食業が 95.2%(同 96.4%、96.2%、95.6%、93.3%、100.0%)、サービス業が 74.1%(同 66.7%、75.7%、70.4%、74.7%、69.3%)、小売業が 72.9%(同 72.6%、78.4%、77.6%、80.5%、93.8%) となった。

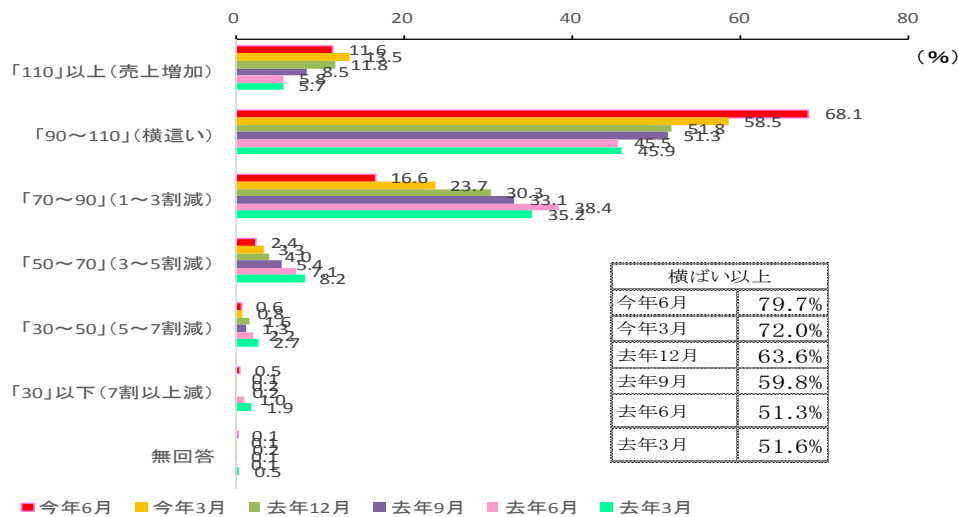


(%)

	回答 企業数 (社)	① 影響が出て いる、悪化傾 向にある	② 影響が出て いる、当面継 続する	①+② 影響が出て いる	影響はない	影響は無くプ ラス傾向にあ る	無回答	合計		
全産業	1,453	8.5	53.1	61.6	33.4	4.3	0.6	100.0		
規模別	小規模企業	353	6.5	43.3	49.8	46.7	2.5	0.8	100.0	
	中小企業	869	8.6	56.2	64.8	30.3	4.5	0.5	100.0	
	中堅企業	230	10.9	57.0	67.9	24.8	6.5	0.9	100.0	
業種別	製造業	379	9.0	60.9	69.9	23.7	6.1	0.3	100.0	
	非製造業	建設業	242	6.6	42.1	48.7	49.2	1.7	0.4	100.0
		卸売業	218	8.7	58.3	67.0	24.3	7.3	1.4	100.0
		小売業	85	15.3	57.6	72.9	21.2	5.9	0.0	100.0
		不動産業	199	2.0	37.7	39.7	57.3	2.5	0.5	100.0
		運輸業	72	8.3	50.0	58.3	34.7	5.6	1.4	100.0
		宿泊・飲食業	21	38.1	57.1	95.2	4.8	0.0	0.0	100.0
		医療・福祉	71	4.2	59.2	63.4	33.8	2.8	0.0	100.0
		サービス	112	13.4	60.7	74.1	23.2	0.9	1.8	100.0
その他	54	9.3	55.6	64.9	29.6	5.6	0.0	100.0		

(2)今年6月の売上水準は（前年同月を100とすると）

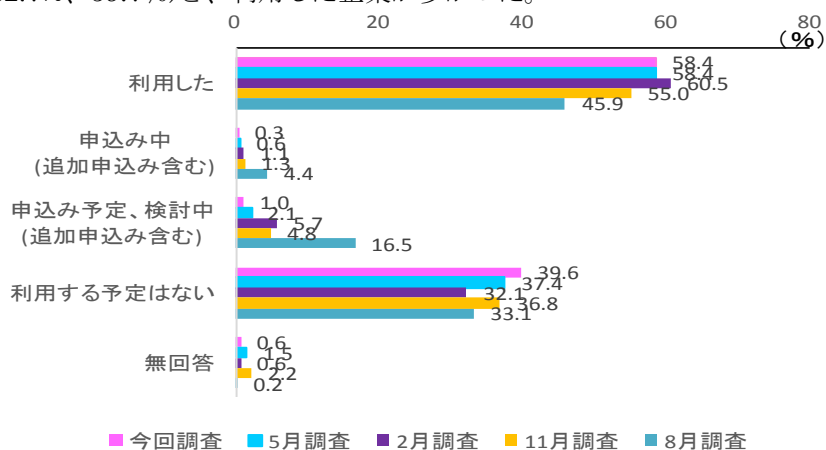
- 今年6月の売上水準は、前年同月を「100」とすると①「110」以上（売上増加）が11.6%、②「90～100」（横這い）が68.1%、③「70～90」（1～3割減）が16.6%、④「50～70」（3～5割減）が2.4%、⑤「30～50」（5～7割減）が0.6%、⑥「30」以下（7割以上減）が0.5%となり、過去5回の調査に比べて売上減の企業は減少した。横這い以上の企業が今回79.7%となり、今年3月72.0%、去年12月63.6%、9月59.8%、6月51.3%、3月51.6%と少しずつ増加している。
- 横ばい以上の企業と1割以上減の企業をそれぞれ規模別にみると、横這い以上の企業では中堅企業が、小規模、中堅企業をやや上回り、また、1割以上減ではやや下回る結果となっている。
- 1割以上売上減と回答した先を業種別にみても、宿泊・飲食業が今回52.3%(今年3月82.2%、去年12月73.0%、9月69.6%、6月80.0%、3月95.5%)と引き続き悪いが、他の業種は回復してきている。



		回答 企業数 (社)	① 「110」以上 (売上増加)	② 「90～110」 (横這い)	①+② 横這い以上	③ 「70～90」 (1～3割減)	④ 「50～70」 (3～5割減)	⑤ 「30～50」 (5～7割減)	⑥ 「30」以下 (7割以上減)	③+④+⑤+ ⑥ 1割以上減	無回答	合計	
全産業		1,453	11.6	68.1	79.7	16.6	2.4	0.6	0.5	20.1	0.1	100.0	
規模別	小規模企業	353	7.1	73.1	80.2	16.1	1.7	1.1	0.3	19.2	0.6	100.0	
	中小企業	869	13.0	65.1	78.1	17.8	2.9	0.6	0.6	21.9	0.0	100.0	
	中堅企業	230	13.5	71.7	85.2	12.6	1.7	0.0	0.4	14.7	0.0	100.0	
業種別	製造業	379	15.3	60.9	76.2	18.5	3.7	0.5	0.8	23.5	0.3	100.0	
	非製造業	建設業	242	11.2	71.1	82.3	15.7	1.2	0.4	0.4	17.7	0.0	100.0
		卸売業	218	13.8	61.9	75.7	21.6	2.3	0.5	0.0	24.4	0.0	100.0
		小売業	85	12.9	69.4	82.3	15.3	1.2	1.2	0.0	17.7	0.0	100.0
		不動産業	199	6.0	83.4	89.4	9.5	1.0	0.0	0.0	10.5	0.0	100.0
		運輸業	72	13.9	66.7	80.6	15.3	4.2	0.0	0.0	19.5	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	21	4.8	42.9	47.7	19.0	19.0	14.3	0.0	52.3	0.0	100.0
		医療・福祉	71	7.0	81.7	88.7	7.0	0.0	0.0	4.2	11.2	0.0	100.0
		サービス	112	10.7	67.0	77.7	18.8	1.8	0.9	0.0	21.4	0.9	100.0
その他	54	5.6	68.5	74.1	24.1	1.9	0.0	0.0	26.0	0.0	100.0		

(3) 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況

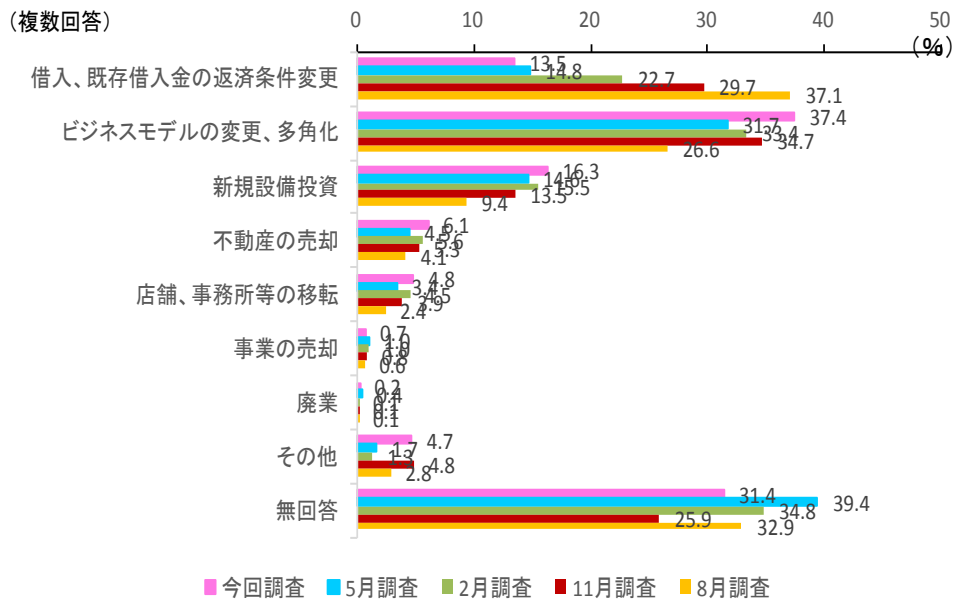
- ・ 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況は、「利用した」が今回 58.4%(今年 5 月 58.4%、2 月 60.5%、去年 11 月 55.0%、8 月調査 45.9%)、「申込み中」が 0.3%(同 0.6%、1.1%、1.3%、4.4%)、「申込み予定、検討中」が 1.0%(同 2.1%、5.7%、4.8%、16.5%)、「利用する予定はない」が 39.6%(同 37.4%、32.1%、36.8%、33.1%)という結果となった。「申込み中」「申込み予定、検討中」が減少し、「利用する予定がない」が増加し、必要とする企業の利用が進み、利用した企業と利用しない企業に大別されてきた。
- ・ 規模別にみても小規模企業、中小企業では「利用した」がそれぞれ 54.7%、(同 58.8%、55.9%、56.8%、48.9%)、64.8%(同 63.3%、65.1%、59.6%、47.4%)と高く、多くの企業が利用している。中堅企業では「利用した」が 40.0%(同 39.5%、48.3%、35.5%、36.3%)で、「利用する予定はない」が 58.7%(同 55.3%、45.0%、52.3%、45.6%)となった。
- ・ 業種別にみても『医療・福祉』、『その他』は「利用する予定がない」がそれぞれ 59.2%、57.4%と 50%を上回っている。一方、それ以外の業種では「利用した」が高い結果となっており、特に「宿泊・飲食業」が 71.4%(同 85.7%、80.8%、69.6%、66.7%)、「小売業」が 70.6%(同 66.3%、66.3%、62.7%、59.7%)と、利用した企業が多かった。



		回答企業数(社)	利用した	申込み中(追加申込み含む)	申込み予定、検討中(追加申込み含む)	利用する予定はない	無回答	合計	
全産業		1,453	58.4	0.3	1.0	39.6	0.6	100.0	
規模別	小規模企業	353	54.7	0.8	1.4	41.6	1.4	100.0	
	中小企業	869	64.8	0.2	0.8	33.7	0.5	100.0	
	中堅企業	230	40.0	0.0	1.3	58.7	0.0	100.0	
業種別	製造業	379	61.2	0.3	0.8	36.9	0.8	100.0	
	非製造業	建設業	242	65.7	0.4	1.7	31.8	0.4	100.0
		卸売業	218	57.3	0.5	0.9	40.4	0.9	100.0
		小売業	85	70.6	1.2	0.0	27.1	1.2	100.0
		不動産業	199	49.2	0.5	2.0	47.7	0.5	100.0
		運輸業	72	63.9	0.0	2.8	33.3	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	21	71.4	0.0	0.0	28.6	0.0	100.0
		医療・福祉	71	40.8	0.0	0.0	59.2	0.0	100.0
		サービス	112	54.5	0.0	0.0	44.6	0.9	100.0
その他	54	42.6	0.0	0.0	57.4	0.0	100.0		

(4)既に実施または、今後実施を検討している対策

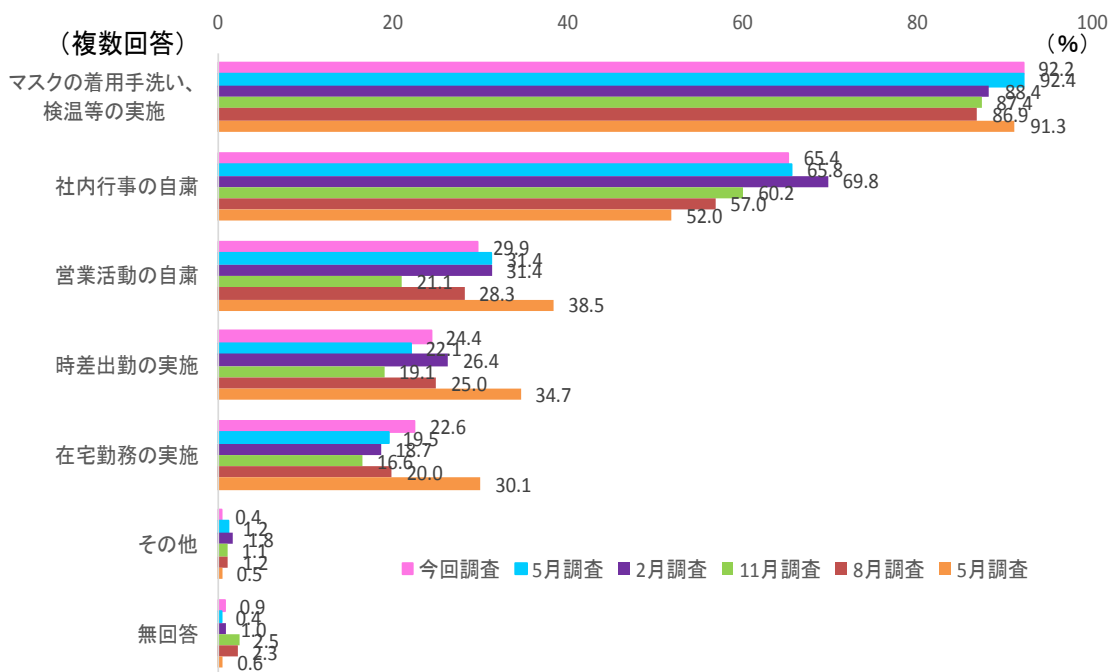
- 既に実施または今後実施を検討している対策は、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」が今回 13.5%(今年 5 月 14.8%、2 月 22.7%、去年 11 月 29.7%、8 月 37.1%)、「ビジネスモデルの変更、多角化」が 37.4 %、(同 31.7%、33.4%、34.7%、26.6%)、「新規設備投資」が 16.3%(同 14.6%、15.5%、13.5%、9.4%)、「不動産の売却」が 6.1%(同 4.5%、5.6%、5.3%、4.1%)、「店舗、事務所等の移転」が 4.8%(同 3.4%、4.5%、3.9%、2.4%)、「事業の売却」が 0.7%(同 1.0%、1.0%、0.8%、0.6%)、「廃業」が 0.2%(同 0.4%、0.1%、0.1%、0.1%)という結果になった。コロナ後を見据えて「ビジネスモデルの変更、多角化」「新規設備投資」が、増加傾向にある。
- 規模別でみると、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」「不動産の売却」は小規模企業で高く、「ビジネスモデルの変更、多角化」は企業規模にかかわらず高く、「新規設備投資」は企業規模が大きいほど高くなった。
- 業種別にみると、「ビジネスモデルの変更、多角化」は製造業、非製造業ともに高く、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」「新規設備投資」は、製造業の方が非製造業に比べて高くなった。



		回答企業数(社)	資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更	ビジネスモデルの変更、多角化	新規設備投資	不動産の売却	店舗、事務所等の移転	事業の売却	廃業	その他	無回答
全産業		1,453	13.5	37.4	16.3	6.1	4.8	0.7	0.2	4.7	31.4
規模別	小規模企業	218	22.0	42.2	13.8	18.3	6.0	1.4	0.9	8.7	61.9
	中小企業	869	13.9	40.4	18.0	4.3	4.6	0.8	0.1	4.5	29.8
	中堅企業	230	11.7	43.9	22.2	4.8	7.4	0.0	0.0	4.3	26.5
業種別	製造業	379	18.5	40.6	19.3	3.2	5.3	1.3	0.5	3.7	27.2
	非製造業	1,074	11.7	36.3	15.3	7.1	4.7	0.5	0.1	5.0	32.9

(5) 現在、対策として実施しているものは

- ・現在、対策として実施しているものは、「マスクの着用や手洗い、検温等の励行」が今回 92.2%(今年 5 月 92.4%、2 月 88.4%、去年 11 月 87.4%、8 月 86.9%、5 月 91.3%)、「社内行事の自粛」が 65.4%(同 65.8%、69.8%、60.2%、57.0%、52.0%)、「営業活動の自粛」が 29.9%(同 31.4%、31.4%、21.1%、28.3%、38.5%)、「時差出勤（シフト勤務等）の実施」が 24.4%(同 22.1%、26.4%、19.1%、25.0%、34.7%)、「在宅勤務（テレワーク等）の実施」が 22.6%(同 19.5%、18.7%、16.6%、20.0%、30.1%)となった。
- ・規模別では、「社内行事の自粛」「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」の項目において、過去 5 回の調査と同様に企業規模が大きい企業ほど高いという結果となった。
- ・業種別では、製造業では非製造業より「社内行事の自粛」「営業活動の自粛」「在宅勤務の実施」の項目において比率が高いという結果となり、「営業活動の自粛」の差は大きい。



		回答企業数(社)	マスクの着用や手洗い、検温等の実施	社内行事の自粛(延期、中止等)	営業活動の自粛	時差出勤(シフト勤務等)の実施	在宅勤務(テレワーク等)の実施	その他	無回答
全産業		1,453	92.2	65.4	29.9	24.4	22.6	0.4	0.9
規模別	小規模企業	353	92.6	50.7	22.7	15.0	21.2	0.3	1.4
	中小企業	869	91.9	67.5	31.0	24.5	19.0	0.6	0.8
	中堅企業	230	92.6	79.6	36.5	38.7	38.7	0.0	0.4
業種別	製造業	379	90.8	69.1	41.2	22.4	23.0	0.0	1.1
	非製造業	1,074	92.7	64.1	25.9	25.1	22.5	0.6	0.8

IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2020年 10~12月				2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	5.6	52.8	41.6	▲36.0	6.0	53.0	40.9	▲34.9	8.1	56.7	35.2	▲27.1	7.2	63.8	29.0	▲21.8	6.7	67.1	26.1	▲19.4
小規模企業	4.0	59.0	37.0	▲33.0	3.1	62.1	34.8	▲31.7	4.8	65.6	29.6	▲24.8	3.4	72.0	24.6	▲21.2	3.7	75.1	21.2	▲17.6
中小企業	5.7	51.4	43.0	▲37.3	6.5	51.1	42.4	▲35.9	8.1	53.9	38.0	▲29.8	8.1	60.4	31.5	▲23.5	7.5	63.8	28.8	▲21.3
中堅企業	7.3	50.9	41.8	▲34.5	8.5	47.9	43.6	▲35.1	12.3	55.7	32.0	▲19.7	9.6	64.2	26.2	▲16.6	8.7	67.7	23.6	▲14.8
製造業	5.8	42.1	52.1	▲46.3	9.3	43.5	47.2	▲37.9	10.7	48.8	40.5	▲29.9	9.5	56.6	33.9	▲24.3	8.5	60.1	31.5	▲23.0
小規模企業	8.7	21.7	69.6	▲60.9	5.6	50.0	44.4	▲38.9	9.7	48.4	41.9	▲32.3	6.9	55.2	37.9	▲31.0	10.3	55.2	34.5	▲24.1
中小企業	4.6	44.2	51.2	▲46.6	8.1	42.9	49.0	▲40.9	9.8	47.9	42.3	▲32.5	9.1	54.4	36.5	▲27.4	7.7	58.4	33.9	▲26.3
中堅企業	9.2	40.8	50.0	▲40.8	14.1	43.6	42.3	▲28.2	14.1	51.3	34.6	▲20.5	12.2	64.9	23.0	▲10.8	10.8	67.6	21.6	▲10.8
非製造業	5.5	57.0	37.5	▲31.9	4.8	56.5	38.6	▲33.8	7.1	59.7	33.2	▲26.0	6.3	66.4	27.3	▲20.9	6.1	69.6	24.2	▲18.1
小規模企業	3.6	62.4	34.0	▲30.4	3.0	62.7	34.3	▲31.4	4.2	67.7	28.1	▲24.0	3.1	73.5	23.5	▲20.4	3.1	76.9	20.1	▲17.0
中小企業	6.2	54.9	38.9	▲32.7	5.7	55.1	39.2	▲33.5	7.4	56.6	36.0	▲28.6	7.6	63.2	29.2	▲21.7	7.4	66.2	26.4	▲19.0
中堅企業	6.3	56.3	37.5	▲31.3	5.3	50.4	44.4	▲39.1	11.3	58.0	30.7	▲19.3	8.4	63.9	27.7	▲19.4	7.7	67.7	24.5	▲16.8

項目	2020年 10~12月				2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	3.4	44.4	52.2	▲48.8	6.3	45.2	48.5	▲42.1	6.0	49.3	44.6	▲38.6	4.3	60.9	34.8	▲30.6	4.5	65.4	30.1	▲25.6
	阪神地域	4.7	60.6	34.8	▲30.1	3.3	62.5	34.1	▲30.8	6.8	70.6	22.6	▲15.9	7.6	74.6	17.9	▲10.3	7.1	76.6	16.4	▲9.3
	播磨地域	8.1	55.6	36.3	▲28.2	8.4	55.4	36.2	▲27.8	11.1	57.9	31.0	▲20.0	9.8	62.1	28.1	▲18.2	8.4	65.9	25.7	▲17.2
	但馬・丹波地域	5.9	43.1	51.0	▲45.1	7.7	46.2	46.2	▲38.5	8.1	48.6	43.2	▲35.1	5.2	36.2	58.6	▲53.4	8.6	36.2	55.2	▲46.6
	淡路地域	3.0	53.5	43.6	▲40.6	0.0	47.1	52.9	▲52.9	6.3	45.3	48.4	▲42.1	5.1	57.6	37.4	▲32.3	5.1	60.6	34.3	▲29.3
業種別	製造業	5.8	42.1	52.1	▲46.3	9.3	43.5	47.2	▲37.9	10.7	48.8	40.5	▲29.9	9.5	56.6	33.9	▲24.3	8.5	60.1	31.5	▲23.0
	建設業	4.5	66.1	29.4	▲24.9	5.3	68.3	26.4	▲21.2	8.6	66.2	25.2	▲16.7	5.4	71.9	22.7	▲17.4	6.6	72.3	21.1	▲14.5
	卸売業	7.5	44.0	48.5	▲41.0	9.5	47.1	43.4	▲33.9	8.5	50.2	41.3	▲32.9	9.2	57.3	33.5	▲24.3	8.3	61.0	30.7	▲22.5
	小売業	11.9	38.8	49.3	▲37.3	7.3	29.3	63.4	▲56.1	10.0	46.3	43.8	▲33.8	11.8	58.8	29.4	▲17.6	9.4	61.2	29.4	▲20.0
	不動産業	0.6	76.8	22.6	▲21.9	1.2	75.5	23.3	▲22.1	3.7	79.3	17.1	▲13.4	2.0	83.9	14.1	▲12.1	2.0	84.9	13.1	▲11.1
	運輸業	8.8	51.5	39.7	▲30.9	6.2	50.8	43.1	▲36.9	9.0	61.2	29.9	▲20.9	6.9	62.5	30.6	▲23.6	8.3	70.8	20.8	▲12.5
	宿泊・飲食業	13.0	30.4	56.5	▲43.5	0.0	7.7	92.3	▲92.3	3.6	10.7	85.7	▲82.1	0.0	14.3	85.7	▲85.7	0.0	38.1	61.9	▲61.9
	医療・福祉	3.9	62.7	33.3	▲29.4	2.0	61.2	36.7	▲34.7	3.6	67.9	28.6	▲25.0	12.7	70.4	16.9	▲4.2	8.5	74.6	16.9	▲8.5
	サービス業	5.6	50.4	44.0	▲38.4	0.9	51.4	47.7	▲46.8	7.5	50.5	41.9	▲34.4	4.5	55.4	40.2	▲35.7	5.4	61.6	33.0	▲27.7
その他	2.0	62.7	35.3	▲33.3	5.3	64.9	29.8	▲24.6	6.3	61.5	32.3	▲26.0	3.7	68.5	27.8	▲24.1	3.7	70.4	25.9	▲22.2	

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2020年 10~12月				2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	9.9	46.4	43.7	▲33.8	11.0	49.1	39.9	▲28.9	14.1	54.2	31.7	▲17.7	15.0	60.5	24.5	▲9.5	12.9	65.8	21.2	▲8.3
経常利益判断	10.6	51.2	38.3	▲27.7	11.4	51.2	37.5	▲26.1	13.7	56.9	29.3	▲15.6	13.8	63.9	22.2	▲8.4	11.4	69.6	19.1	▲7.7
仕入価格判断	5.0	85.6	9.4	▲4.3	5.9	85.1	9.0	▲3.2	11.5	81.3	7.3	4.2	15.3	80.7	4.0	11.3	14.9	82.3	2.8	12.1
生産判断【製造業のみ】	7.9	51.2	40.8	▲32.9	15.0	52.6	32.4	▲17.4	15.5	58.0	26.5	▲11.0	17.9	65.0	17.1	0.9	16.2	69.4	14.4	1.8
在庫判断	2.3	92.5	5.2	▲2.9	2.2	93.5	4.3	▲2.1	4.0	92.9	3.0	1.0	3.7	93.3	2.9	0.8	4.0	94.1	1.9	2.1
資金繰り判断	8.7	83.4	7.9	0.8	8.2	84.4	7.4	0.8	9.3	84.2	6.4	2.9	7.2	87.5	5.3	1.9	6.1	89.0	4.8	1.3
雇用判断	10.4	86.4	3.1	7.3	10.0	85.6	4.4	5.7	10.3	87.4	2.3	8.0	11.0	87.8	1.2	9.8	11.2	87.9	1.0	10.2
設備投資判断	6.0	82.9	11.0	▲5.0	5.7	85.1	9.2	▲3.6	6.3	86.2	7.4	▲1.1	6.2	87.2	6.6	▲0.4	6.5	87.6	5.9	0.6